

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンレイトル伊勢原A新築工事	階数	地上15階
建設地	伊勢原市桜台1丁目512-1外5筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	472 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2015年8月28日
敷地面積	2,175 m ²	作成者	(株)光和設計
建築面積	851 m ²	確認日	2015年8月31日
延床面積	9,783 m ²	確認者	(株)光和設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 30%★★★★☆ 60%★★★★ 80%★★★★ 100%★★★ 100%超:★★

①参照値 100% (138)
②建築物の取組み 85% (92)
③上記+②以外の 85% (92)
④上記+ 85% (92)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.2
Q2 サービス性能: 3.0
Q3 室外環境(敷地内): 2.8
LR1 エネルギー: 2.2
LR2 資源・マテリアル: 2.8
LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.2)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.0)

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.8)

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 2.2)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.8)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.2)

3 設計上の配慮事項		
総合 ごみ置場は臭気の漏れを抑制するために建物型とし、周辺環境に配慮した。		その他 商業地域による安全な歩行に配慮して、敷地境界より1.5mの歩行空間を設けた。
Q1 室内環境 開口部にT-2サッシを使用し、遮音性に配慮した。	Q2 サービス性能 共用部はバリアフリーに配慮した空間とした。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限りの高木を計画した。
LR1 エネルギー 専有部は有効な採光及び通風を確保した。	LR2 資源・マテリアル 主要水栓に節水コマを使用した。	LR3 敷地外環境 広告照明は行わない計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される